

謹啓 早春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
さて、本日は平成二十九年度卒業証書授与式にご臨席を賜りまして、誠にありがとうございますございました。お陰様をもちまして、卒業生二百四十二名が、この度めでたく卒業の運びとなりました。これもひとえに皆様のご支援の賜と深く感謝を申し上げます。

今後とも、本校教育活動に対して一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます、お礼といたします。

謹言

平成三十年三月一日

青森県立八戸工業高等学校

校長 高谷

悟



平成29年度

全日制課程 第69回  
定時制課程 第46回

# 卒業証書授与式

平成30年3月1日

## 式次第

修 礼

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1 開式のことば  | 6 卒業生を送ることば |
| 2 国歌斉唱    | 7 卒業生別れのことば |
| 3 卒業証書授与  | 8 校歌斉唱      |
| 4 校長式辞    | 9 閉式のことば    |
| 5 お祝いのことば | 修 礼         |

青森県立八戸工業高等学校

# 青森県立八戸工業高等学校校歌

作詞 折口 信夫  
作曲 山田 耕 侖

1. 晴れよ。陸奥。青々と  
山脈 大野 わたつみも、  
輝けり。ただに一色。  
暁の光りはおよぶ。  
大路 八衢 塔 臺  
また そそり立つ学校や。  
若々し そこに勤しむ  
みずみずし わが肩に照る

2. 曇れ。日本。くもるとも、  
姑し 天雲霽れむ間ぞ。  
真昼空 片かげりして、  
馬淵川 そよぎ澄み行く。  
地方といえども 最頂崎  
青森県のよき都市に  
生れ来し恵みの深さ。  
このほこり 身もてこたへむ

3. しずかに暮るる夜の燈に、  
けふの一日を 省みむ。  
怠らず 学問せしか。  
はげみつつ 技能か練りし  
春 かぐはしくよき希望  
ここに廻りて来む日まで、  
努めむよ。学生として、  
すがすがし 若人として

# 卒業式の知事のメッセージ

青森県知事 三 村 申 吾

御卒業おめでとうございます。

本日、晴れてこの佳き日を迎えられた卒業生の皆さんに、心からお祝い申し上げます。

それぞれの未来へ向けて、いま旅立とうとする皆さんの胸中には、在学中の様々な思い出が去来しているのではないのでしょうか。勉学に、スポーツに、そして文化活動に励み、学友と語りあった日々は、決して楽しいことばかりでなく、多くの困難もあったことでしょう。皆さんはそれらを乗り越えて、自らの力の限りを尽くすことの大事さ、人と人との心の触れ合いや絆の大切さ、そして真の友情の尊さを学ばれたことと思います。

明日から皆さんは、新生活への希望を胸に、別々の道へと歩み出します。社会人として実社会という大海原へと漕ぎ出される方、さらなる勉学を積まれる方など、選んだ道はそれぞれ異なりますが、この学び舎で学んだことを糧として、大きな夢と高い志を持って、自らの歩む道を切り拓いていってください。

時代が大きな変革の時を迎えている中、青森県民一人ひとりが誇りと生きがいを持ち、安んじて、そして輝いて生きられる社会の実現のためには、若い皆さんの力が必要です。皆さんは、未来の青森県を担う人の財、「人財」<sup>たから じんざい</sup>です。限りない可能性を持つ皆さんとともに、青森県の今と未来を築いていきたいと思えます。

夢や志を実現しようとする皆さんの前には、時には困難なことが待ち受けているかもしれませんが、決してひるむことなく、失敗を恐れず、創造力をもって果敢にチャレンジしてください。

また、これまで温かい愛情を持って皆さんを育ててくれた御家族や、情熱を持って御指導くださった教職員の皆様をはじめ、お世話になった多くの方々への感謝の気持ちを決して忘れることなく、これからの人生を歩んでください。皆さんが立派に成長され、夢を実現し、志を果たすことが、最高の恩返しとなることでしょう。

卒業生の皆さん、これからもふるさと青森県を誇りとしながら、変革の時代を切り拓く「人財」として、明るい未来に向かって大きく羽ばたいてください。皆さんの前途に輝かしい未来が開かれますことを祈念し、お祝いのことばといたします。

平成 30 年 3 月 1 日

(全日制)

## 卒業式によせる県議会議長メッセージ

青森県議会議長 熊谷 雄一

皆さん、御卒業おめでとうございます。

本日ここに、3年間の確かな努力が実り、御卒業を迎えられた皆さんが、大いなる希望を抱いて、大学等へ、あるいは実社会へと旅立って行かれることは、誠に喜ばしく、県議会を代表して、心からお祝い申し上げます。

また、この日を迎えられるに当たり、皆さんはもとより、温かいまなざしで見守ってこられた御家族や、情熱をもって教育・指導に当たってこられた先生方の喜びもまたひとしおのことと思います。

今、皆さんは卒業式に臨んで、勉学や部活動等に励んだこと、様々な人々との出会いなど、学校生活での数々の場面を思い起こして、胸中さまざまな感慨が去来していると思います。

また、遙かなる前途に思いを馳せていることとも思いますが、おのおの進む道は異なっても、皆さんがこれまでの学校生活で培った知識や経験、また、育んできた友情は、新天地においても大いに役立つものと確信しております。

これからの長い人生において、多くの岐路に直面することと思いますが、自らの可能性を信じ、それぞれの思い描く夢と希望の実現を目指して、自分自身が納得のできる道をひたむきに歩んでください。

若々しく活力に満ち溢れた皆さんの益々の成長を期待するとともに、今後の御活躍と御多幸をお祈りし、お祝いの言葉といたします。

平成30年3月1日

(定時制)

## 卒業式によせる県議会議長メッセージ

青森県議会議長 熊谷 雄一

皆さん、御卒業おめでとうございます。

本日ここに、蛍雪の功が実り、めでたく皆さんが御卒業を迎えられましたことは、誠に喜ばしく、県議会を代表して、心からお祝い申し上げます。

また、この日を迎えられるに当たり、皆さんはもとより、温かいまなざしで見守ってこられた御家族や、情熱をもって教育・指導に当たってこられた先生方の喜びもまたひとしおのことと思います。

皆さんの中には、様々な事情を抱えながらもそれを克服し、勉学に精励された方もいらっしゃると思います。ここに晴れて念願の御卒業を迎えられた御努力は、誠に尊いものがあり、深く敬意を表します。

これからは、これまでの経験とともに、高等学校で学んだ知識や育んだ友情を糧として、それぞれの目標に向かって、自分自身が納得のできる道を邁進してください。

本日の御卒業を人生の大きな節目とし、大いなる夢と希望を抱いて旅立たれる皆さんのより一層の御活躍と御多幸をお祈りし、お祝いの言葉といたします。

平成30年3月1日

# お祝いの言葉

青森県教育委員会

桜舞い散る並木道

新緑きらめく溪流

錦繡きんしゅうに染まる山々

遥かに広がる雪原

目を閉じれば心に浮かぶ美しいふるさとは

いつも優しく見守り支えてくれる

白い息をはずませて駆け出した春の朝

滴したたる汗を何度もぬぐった夏の昼下がり

真理を求めさまよいつけた秋の夕暮れ

星空を見上げて夢を語り合った冬の夜

目を閉じれば心に浮かぶ輝かしい青春の日々は

独りではないと思い起こさせてくれる

全てが闇に包まれて踏み出す足を躊躇ためらうときも

ほんの少し背を伸ばせば必ずそこに光が見える

この学び舎を今巣立ちゆく若人よ

希望を胸に大空に羽ばたかんとする若人よ

己を信じどこまでも進め

行く手に幸多からんことを祈る

平成 30 年 3 月 1 日

## メッセージ

八戸市長

小林 真

皆さん、ご卒業おめでとうございます。

本日ここに皆さんが高等学校所定の課程を終えて、めでたく卒業の日を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。たくましく立派に成長された卒業生の皆さんの姿を目の当たりにし、これまで温かく支えてこられた御家族や、熱心に御指導くださった先生方のお喜びもひとしおのことと存じます。

卒業は、人生のひとつの区切りであり、新たな目標に向かって出発するときでもあります。これから皆さんは、社会人として実社会で活躍される方、進学してさらに勉学に励まれる方など、それぞれの道を歩んでいきます。どんな道も、順風満帆ではなく、時には厳しい困難に出会うことでしょう。思い悩み、辛く苦しいときには、いつも励まし合ってきた仲間や御家族、先生方のことを思い浮かべてください。どんな時でも、皆さんを支えてくれている人が必ずいることを歩む力に変えて、着実に自分の人生を切り拓いてほしいと願っております。

皆さんが、この学校で得た良識・知性・技術をもとに更に研鑽を積まれ、郷土を担い、大いに活躍されますことを期待しております。

皆さんの晴れの門出と輝かしい未来を心から祝福し、お祝いの言葉といたします。

平成 30 年 3 月 1 日



# お祝いの言葉

青森県高等学校PTA連合会

会長 若宮 佳一

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。そして、今までお子様を慈しみ育ててこられた保護者の皆様に心から敬意を表します。

平成30年は明治の改元から150年という節目の年にあたります。武士が刀を腰に差し、年貢を農民から徴収するという時代からたった150年しか経っていないことに何か不思議な感覚を覚えるのは私だけでしょうか。江戸時代末期から明治の激動の時代を切り開き、今日の日本社会の礎を築いた先達は、紛れもなく皆さんのような理想に燃えた若人達です。

50年、100年後の日本の未来は皆さんの力にかかっています。現代は産業革命以来の激動の時代と言われています。AI（人工知能）やICT（情報通信技術）の進化はとどまることを知らず、これからの社会は多くの仕事がコンピュータに置き換わり、技術開発と進化の主役が人間からAIに移るとさえ言われています。しかし、社会の中でAIの重要性が増大したとしても、主役は人間であることに変わりはないはずでせう。これからの社会を生きる皆さんはAIを道具として使いこなすために、さらなる準備をする事が求められているのです。AIでは導き出すことのできない、人間にしかできない創造力や、豊かな人間性をもって物事に対処する力はますます重要な意味を持つてくると思ひます。想定外を想定し、社会のいかなる変化にも柔軟に対応し、堂々と生き抜く力を身につけていって下さい。

私たち保護者は豊かな未来へ向かって前進する皆さんの姿を信じ、見守ることしかできません。

卒業生の皆さん、これまで情熱を持ってご指導していただいた先生方やお世話になった多くの方々に感謝の気持ちを忘れることなく、これからの人生を歩んでいって下さい。晴れの門出にあたって皆さんのさらなる飛躍をご祈念し、お祝いの言葉といたします。

平成30年3月1日

# お祝いのことば

青森県高等学校定時制通信制教育振興会

会長 相馬 鋳 一

本日ここに、高校生活の集大成である卒業の日を迎えられた皆さん、ご卒業おめでとうございます。

ここまでの道のりを振り返ったとき、一人一人の胸に去来するものは、それぞれ異なることと思います。しかし、まずもって今日は、卒業に至るまで頑張ってきた自分自身に労いの言葉をかけてあげてください。そして、決して自分の力だけでこの日を迎えたわけではないということを肝に銘じ、これまで皆さんを支えてくれたご両親はじめ家族、先生方、そして友人に感謝の言葉を伝えてください。

さて、2018年平昌において冬季オリンピックが開催されました。世界各国のアスリートがメダルを目指してひたむきに挑戦する姿は、私たちに多くの感動を与えるとともに、2020年東京オリンピックに向けて歩むべき指針を示してくれました。

皆さんの歩む道のは、決して平坦ではないと思いますが、家族や仲間との絆を大切に、「勁草」(風雪に耐える<sup>つよ</sup>勁い草)の如く、たくましく、へこたれず、強い心を持ち、自分の夢を叶える努力を惜しむことなく続けていってほしいと願っています。

卒業… それは、学校の全課程を学び「終えること」であると同時に、新たな「スタート」をきることでもあります。

皆さんの前途に幸多きことを祈念し、応援しています。

平成30年3月1日